LIXIL
sunwave

サンファーニ〈ティオ・プラス〉

取扱説明書

このたびはサンファーニ〈ティオ・プラス〉をお買いあげいただき、ありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご使用くださいますようお願いいたします。

この取扱説明書は加熱機器や電気製品などの専用の取扱説明書と一緒に、いつでも使える場所に大切に保管してください。

●転居される場合は、新しく入居される方が商品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。

Ⓔ

もくじ

■各部の名称…… 2

■安全に関するご注意 …… 3～5

■ワークトップまわり …… 6
- ワークトップ…… 6
- シンク一覧…… 7
- シンクの特長…… 7
- 洗剤ポケット…… 8
- ゴミ収納器付排水トラップ…… 9
- 水栓金具……10

■キャビネットまわり（フロア・ウォール）……11
- 扉……11
- 包丁差し……11
- フロアキャビネット（ケコミストッカータイプ）……11
- 引出し……12
- ウォールキャビネット・棚板……12
- 照明付ウォールキャビネット……12
- オプション部品……13

■扉キャッチ……13
- 扉キャッチ付キャビネット……13

■調整方法 ……14
- 扉の調整・取り外し方……14
- 引出しの調整・取り外し方……15
- 棚板の調整……15

■お手入れ方法……16
- ワークトップまわり……16
- ステンレス（ステンレス製ワークトップ・ステンレス製シンク）……16
- 人造大理石……17
- ゴミ収納付排水トラップ……18
- 扉のお手入れ方法……19
- 引出しのお手入れ方法……19
- キャビネットのお手入れ方法……19
- 取っ手のお手入れ方法……19

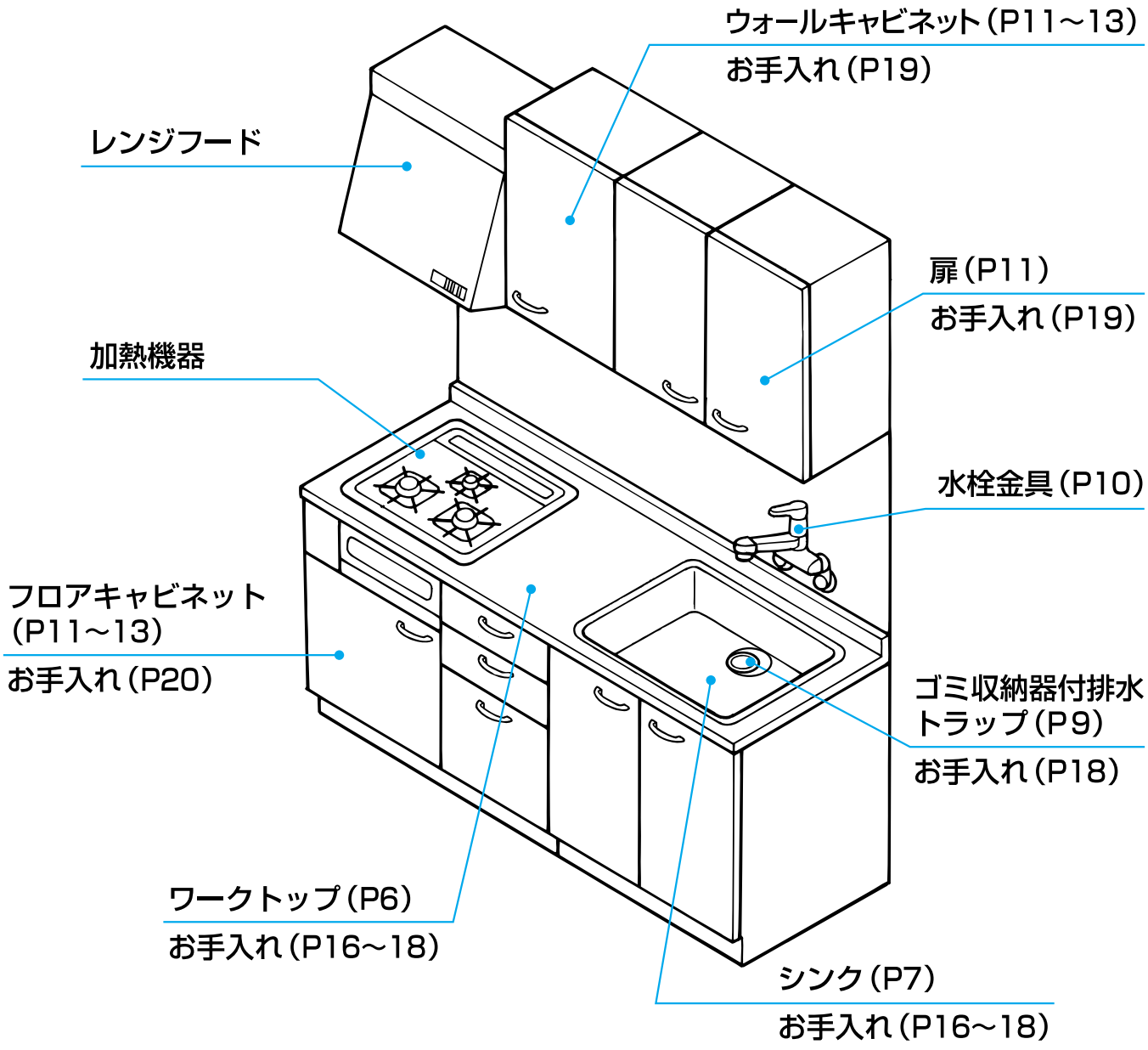
■故障・修理について ……20
- ワークトップ、シンク、扉……20
- キャビネット、引出し……20
- 本製品のホルムアルデヒド発散区分……20

■アフターサービス ……21
- 保証書……22

各部の名称

下図はレイアウトの参考図です。
レイアウトによって左右勝手・扉・シンクなどが図と異なります。

■コンパートメントキッチン



●電気・ガス・水を使用する機器や特殊な機能を持った製品には専用の取扱説明書があります。これらについては専用の取扱説明書を併せてご利用ください。

●この説明書は使用上支障のない範囲で略図や写真を使用して説明しています。お客さまの商品と一部異なる場合もありますので、ご不明の点はお買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご相談ください。

●レンジフードの煙の捕集は、窓やエアコンなどによる風の流れ、人の動きなどに大きく影響を受けます。調理中は煙を効率よく捕集するために、外部からの風がレンジフード周辺にあたらないように注意してください。

安全に関するご注意

ご使用の前に、この『安全に関するご注意』をお読みの上、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
●お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見られる場所に必ず保管してください。
●転居される場合は、新しく入居される方が商品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

⚠ 注意	この表示を実行しない場合、傷害を負う可能性と物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

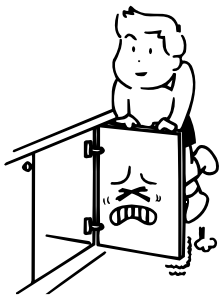
⚠	⃠	❗
この記号は気をつけていただきたいことを「注意喚起」するものです。	この記号は「禁止行為」であることを告げるものです。	この記号は「必ず実行」していただきたいことを告げるものです。

⚠ 注意

●扉や取っ手に乗らない。

禁 止

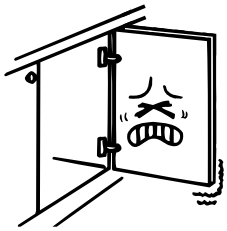
扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



●扉を大きく開けすぎない。

禁 止

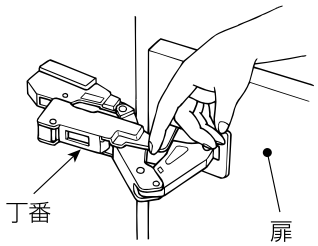
丁番が外れケガをするおそれがあります。



●扉開閉時に丁番にさわらない。

禁 止

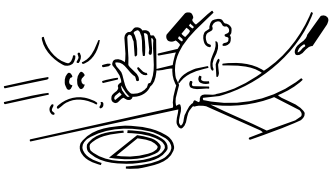
丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。
特にお子さまにはご注意ください。



●高温の油や熱湯を流さない。

禁 止

排水装置や排水パイプは樹脂部品なので、傷んで水もれやつまりのおそれがあります。ゆでこぼしは水を流しながら行ってください。



禁　止

●加熱機器の使用中・使用直後は、加熱機器周辺に手を触れない。

加熱機器周辺の表面温度が高くなっているので、ヤケドをするおそれがあります。

禁　止

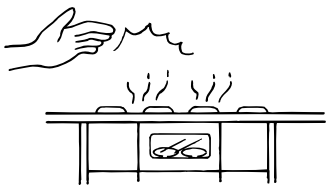
●火をつけたまま離れたり、外出、就寝をしない。

調理中のものが異常加熱し火災など予期せぬ事故の原因になります。
特に天ぷら、揚げものをしているときやグリルを使用しているときは、その場を離れないでください。
離れる時は必ず消火してください。

禁　止

●コンロ・グリル使用時は身体の一部や衣服をバーナー付近や排気口に近づけない。

衣服に炎が移ったり、排気熱によりヤケドをするおそれがあります。



禁　止

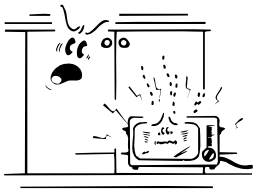
●コンセントに水をかけない。

漏電やショートしたり火災のおそれがあります。

禁　止

●扉を閉めたキャビネット内で電気製品を使わない。

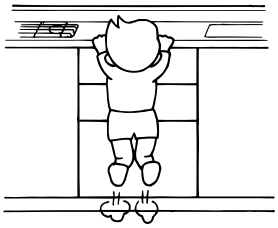
電気製品が故障したり火災のおそれがあります。



禁　止

●ワークトップには絶対にぶらさがらない。

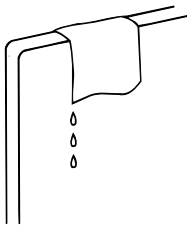
落下してケガをするおそれがあります。



禁　止

●エンドパネルにぬれた布巾等を掛けない。

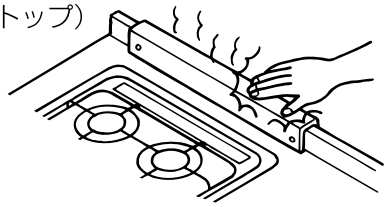
長時間ぬれたまま放置するとふくれたり剥がれたりするおそれがあります。



禁　止

●防熱カバーに触れない。

使用中・使用後に触れるとヤケドをするおそれがあります。
（人造大理石トップ）



禁　止

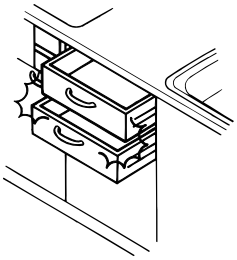
●製品を分解しない。

思いがけないケガをするおそれがあります。

禁　止

●引出しは一段ずつ開閉する。

上下の引出しをともに開閉すると鏡板同士がこすれて鏡板にキズが付くおそれがあります。



安全に関するご注意

必ず実行

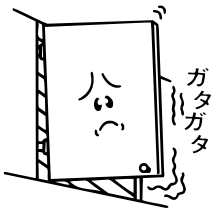
●扉やエンドパネルに水が掛かったり食器洗い乾燥機の排熱（蒸気）により結露した場合は、すみやかにふきとる。

長時間ぬれたまま放置すると、ふくれたり剥がれたりするおそれがあります。

必ず実行

●扉が傾いたりガタついている時は、丁番のネジをしめなおす。

扉が落ちてケガをするおそれがあります。



必ず実行

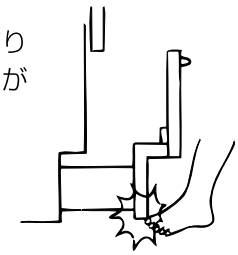
●混合水栓金具を使用する時は、必ず水を先に出す。

水栓金具及び熱湯でヤケドをするおそれがあります。特に小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

注　意

●フロア引出しの開閉時は足先に注意する。

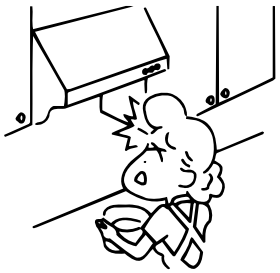
ぶつけたり指をはさんだりして、ケガをするおそれがあります。



注　意

●キャビネットやカウンタートップなどの角に頭をぶつけないよう注意する。

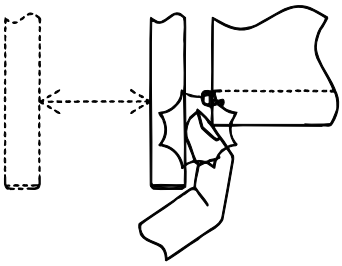
思いがけないケガをするおそれがあります。



注　意

●ウォールキャビネット扉（取っ手レス）の開閉時に指をはさまない。

指をはさんでケガをするおそれがあります。



注　意

●ガスコック及びガス管に注意する。

収納物がガスコックおよびガス管に干渉するとガスもれするおそれがあります。

●キッチン本体以外の機器等には専用の取扱説明書があります。食器洗い乾燥機の排熱（蒸気）によるキッチン本体及び周囲の収納物への影響、また、IH機器の排熱による周囲の収納物への影響はキッチン本体の注意事項と異なる場合があります。必ずお読みください。

●お手入れに使用する洗剤・薬剤は容器等に記載されている注意事項・禁止事項を必ずお読みください。

ワークトップまわり

ワークトップ

●ワークトップの素材はステンレスと人造大理石があります。
●使い終わったら汚れを水ぶきして、さらに乾ぶきするといつまでもきれいにお使いいただけます。

⚠ 注意

禁 止

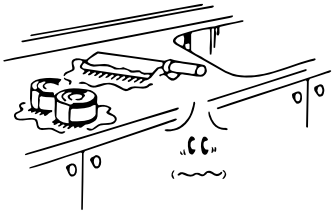
●ナベなどを引きずらない。

ワークトップの上でナベや大皿などを引きずると、表面にキズが付きますので避けてください。

禁 止

●ぬれた鉄製品を放置しない。

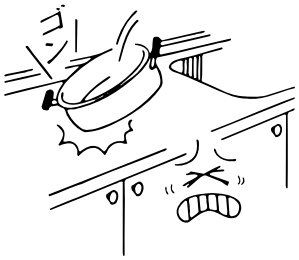
ぬれた包丁や缶は長時間放置しないでください。ぬれた鉄製品がサビると、そのサビがステンレスに移りサビさせます。人造大理石の場合はサビの色が移るおそれがあります。



禁 止

●衝撃を与えない。

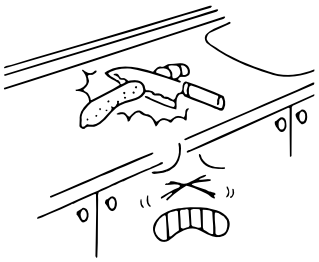
ナベなど硬い物・重い物を落とすと、ワークトップ表面がキズ付き、または変形します。人造大理石トップは割れることがありますので気をつけてください。



禁 止

●包丁などを直接使用しない。

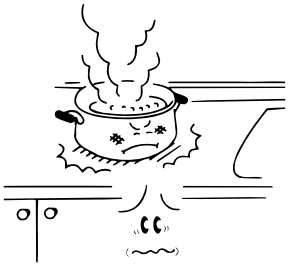
包丁やナイフなどの刃物をワークトップに直接あてると、表面にキズが付きます。



禁 止

●熱いものを直に置かない。

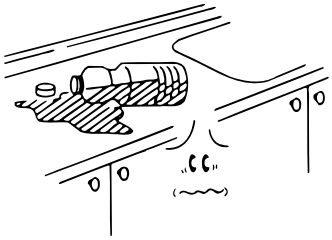
沸騰したヤカンや熱したフライパン、火のついたタバコは、トップに直接置かず、鍋敷きや灰皿をご利用ください。特に人造大理石トップは熱によって変色するおそれがあります。また、ステンレストップは裏面の補強板がはがれるおそれがあります。



必ず実行

●汚れはすぐ洗い流す。

醤油・食酢・煮こぼれ・調味料などの汚れはすぐに洗い流してください。たまった水はふきとってください。放置すると汚れが落ちにくくなり、ワークトップの変色の原因になります。ステンレストップの場合はサビの原因になります。



ワークトップまわり

シンク

シンク一覧

●ラウンド68（56）シンク

ゴミ収納器付
排水トラップ

●40シンク

ゴミ収納器付
排水トラップ

シンクの特長

水びたしになりがちだったシンクまわり、そんなこともなくなります

排水口に段差をつけているので、洗い物が多くてもふさがることなく、スムーズに水が流れます。

シンクの周囲には水滴がたまりにくいテーパーをつけています。

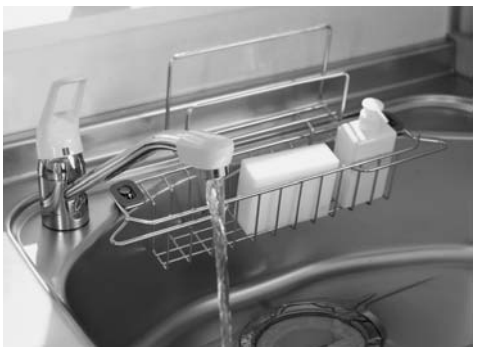
調理面をさらに広く、水じまいも万全です

シンクの上にぴったり収まる水切りプレートで調理スペースが広がります。

※水切りプレートはオプションです。

洗剤ポケットはスポンジや洗剤を収納したりぬれたまな板の仮置きや収納ができます。洗剤ポケットは外して水洗いができます。

※洗剤ポケットはオプションです。後付対応はできません。

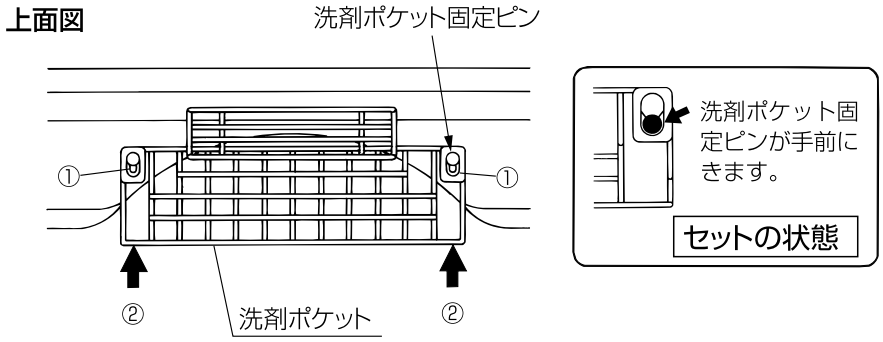


洗剤ポケット（オプション）

●洗剤ポケットは、必ずシンクの所定位置にきっちりとセットしてお使いください。

セット方法

①の穴に洗剤ポケット固定ピンが見えるようにセットしてください。
②の方向にカチッと音がするまで押してください。取り外しは、逆の操作をしてください。

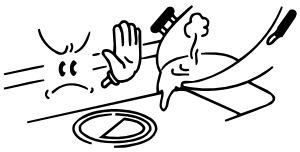


⚠ 注意

禁 止

●高温の油や熱湯を流さない。

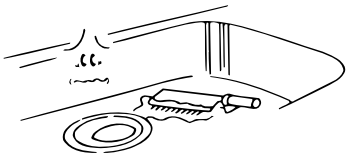
排水装置や排水パイプは樹脂部品なので、傷んで水もれやつまりのおそれがあります。ゆでこぼしは水を流しながら行ってください。



禁 止

●ぬれた鉄製品を放置しない。

ぬれた包丁や缶などはシンクに長時間放置しないでください。サビが移る（もらいサビ）ことがあります。



禁 止

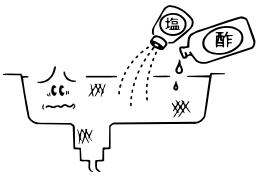
●シンク周辺の樹脂部分に高温の油や熱湯をかけない。

変質や変形のおそれがあります。

必ず実行

●塩分はすぐに洗い流す。

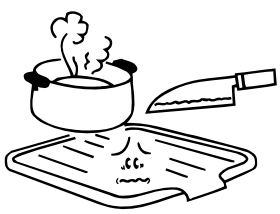
醤油・食酢・調味料・梅干しなど塩分の強いものはすぐに洗い流してください。放置するとサビや変色の原因になります。



禁 止

●水切りプレートの上に重量物を置かない。

水切りプレートが変形します。



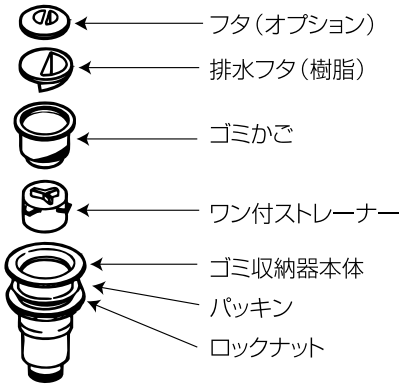
必ず実行

●洗剤ポケットは、シンクの所定位置にきっちりとセットする。

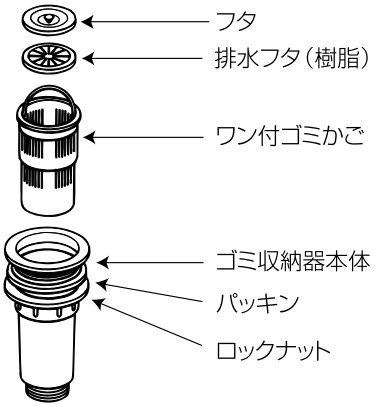
ゴミ収納器付排水トラップ

排水トラップの名称

●ラウンド68（56）シンク用



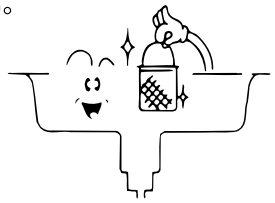
●40シンク用



ご使用にあたってのお願い

●ゴミはこまめに捨ててください。

下水からの悪臭を防ぐ機構になっていますが、ゴミをためすぎると臭気のもとになります。水の流れも悪くなりますので、ゴミはこまめに捨ててください。



●臭気防止とワンの取り外し

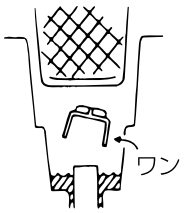
排水の流れが悪くなったらワン（ワン付ゴミかご）を外して、掃除をしてください。それでも流れが悪い場合は、排水パイプ用の薬剤を使用してください。薬剤を使用する際は薬剤専用の説明書をよく読んでからお使いください。

ワン（ワン付ゴミかご）は左に回すと外れます。

●水が凍ってしまったら

冬期や寒冷地で、トラップ部の中にある水が凍ってしまう場合には、ゴミかごの下のワンを取り外しておいてください。

40シンクの場合は、ワン付ゴミかごを取り外しておいてください。



⚠ 注意

禁止

●粘度のあるものや、油類を流さない。

おかゆや調理で残った油などを流すと固まってしまい、トラップの詰まりの原因になります。

誤って流してしまった場合は、お湯を鍋等にいっぱいにくみ、数回流してください。

禁止

●市販の排水口用水切りネットを使用しない。

市販の排水口用水切りネットを使用すると、ゴミかごの詰まりの原因になったり、排水能力が低下します。

必ず実行

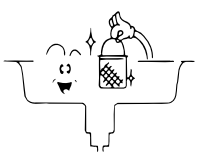
●排水トラップ、ゴミかごを使用する。

排水カップ、ゴミかごを取り付けずに排水をおこなうと、トラップ内にゴミ等が流入し、トラップの詰まりの原因になります。

必ず実行

●ゴミはこまめに捨てる。

ゴミかごにたまったゴミは、すぐに捨ててください。ゴミかごにゴミをためておくと、排水能力が低下し、ゴミが腐って臭気の原因になります。

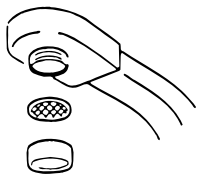


水　栓　金　具

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

ご使用にあたってのお願い

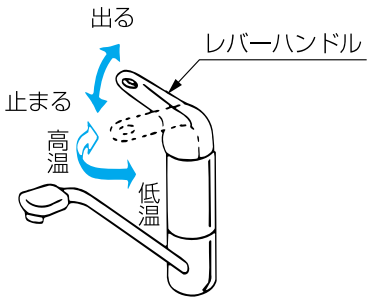
吐水口キャップがつまると水量が少なくなったりします。時々キャップを外し、網につまったゴミを取り除いてください。



水栓金具の使い方

●レバーハンドルの操作

ゆっくり動かしてください。急に操作すると音が出たり、温度が急に変わります。



●水量の調整

レバーハンドルを上げると水が出、下げると水が止まります。
水量はレバーハンドルを上げるにしたがって多くなります。

●温度の調整

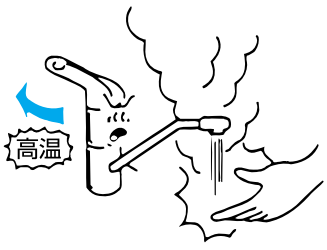
レバーハンドルを左方向に回すと温度が上がり、右方向に回すと下がります。

⚠ 注意

●混合水栓金具を使用する時は、必ず水を先に出す。

必ず実行

水栓金具及び熱湯でヤケドをするおそれがあります。
特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。



水栓金具の維持管理について

水栓金具を安全・快適に長くご使用いただくために、定期的な点検及び部品交換をお願いします。

●定期的な点検について

年２回以上は水まわりの水漏れがないか点検してください。
※見えない部分（フロアキャビネット内）は特に注意が必要です。

●定期的な交換について

逆止弁の交換：安全を確保するために、３～５年ごとに逆止弁を交換してください。
摩耗・劣化する部品の交換：パッキン等が摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。
定期的に部品交換を行ってください。

キャビネットまわり（フロア・ウォール）

扉

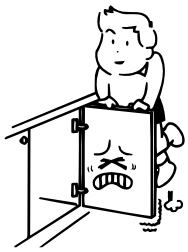
すべての扉がお手入れが楽なクリーン扉です。
お手入れ方法はＰ19を参照ください。

⚠ 注意

禁　止

●扉や取っ手に乗らない。

扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



禁　止

●扉にテープを貼らない。

扉にセロテープやガムテープを貼ると、粘着剤で表面が侵されます。また、剥がした後は汚れが残るおそれがあります。

必ず実行

●やさしく開閉する。

扉は軽い力で開閉できます。あまり強い力をいれずに開閉してください。
扉は90度以上開きます。隣のキャビネットや壁などに当てないよう気をつけてください。
扉や取っ手にキズが付きます。

必ず実行

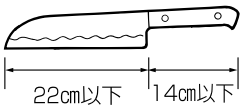
●ぬれたらすぐ拭く。

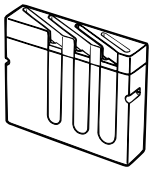
ふくれたり、変色するおそれがあります。

包丁差し

包丁差しに収納可能な包丁の数は４本です。
取り外しはできません。

収納可能な包丁の長さ





⚠ 注意

禁　止

●包丁差しには包丁を指定本数以上入れない。

指定本数以上入れると、扉の開閉時などに包丁がひっかかたり落ちてケガをするおそれがあります。

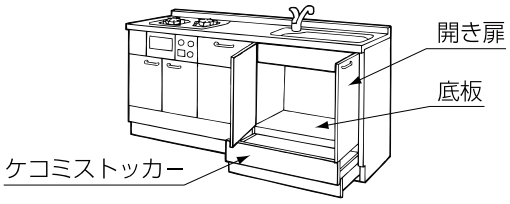
必ず実行

●包丁がきちんと納まったか確認する。

包丁差しに包丁を納めるときは、刃先から入れ、正しく納まったか確認してください。落とすと指や手足にケガをするおそれがあります。出すときもまっすぐ引き出してください。
刃渡りの長い包丁は包丁差しより下に刃物が出る場合があります。十分に注意してください。

フロアキャビネット（ケコミストッカータイプ）

上段の開き扉部と引出し式収納（ケコミストッカー）部に収納ができます。



⚠ 注意

禁　止

●のせすぎたり、重たい物を一カ所に集中させない。

底板やキャビネットが変形するおそれがあります。

必ず実行

●底板の最大積載荷重を守る。

底板の最大積載荷重は20kgです。
最大積載荷重をこえると底板が変形するおそれがあります。

引出し

引出しは取っ手の中央付近を持って開け閉めしてください。

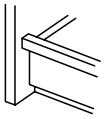
●外し方・はめ方

調整方法はP15を参照ください。

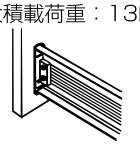
引出しの最大積載荷重

引出しの種類により最大積載荷重が異なります。引出しの種類は、側面手前側の形状（右図）をご確認の上、最大積載荷重を守って安全にご使用ください。のせすぎたり、重たいものを一カ所に集中させないでください。

プラスチック製引出し（白色）
最大積載荷重：10kg



スチール製引出し（白色）
最大積載荷重：13kg



⚠ 注意

禁　止

●引出しに乗らない。

引出しを踏み台代わりに使ったり、お子さまが乗って遊んだりすると、落下してケガをする危険があります。絶対に乗らないでください。

必ず実行

●引出しは一段ずつ開閉する。

上下の引出しをともに開閉すると鏡板同士がこすれて鏡板にキズが付くおそれがあります。

注　意

●収納物の保存方法に注意する。

IH機器は、排熱温度により下側・横側の温度が高くなることがあります。特に調味料・食品（醤油、みりん、調理酒）などは、温度により風味が落ちる可能性がありますので容器に記載された方法でご使用・保存してください。

ウォールキャビネット・棚板

●棚板は可動式になっています。
●調整方法はP15を参照ください。

⚠ 注意

禁　止

●のせすぎたり、重たい物を一カ所に集中させない。

棚板やキャビネットが変形するおそれがあります。
重たい物や倒れやすい物はキャビネットの下（棚板の下）に置いてください。

必ず実行

●棚板の最大積載荷重を守る。

棚板の最大積載荷重は20kgです。ウォールキャビネットの最大積載荷重は60kgです。最大積載荷重をこえると棚板やウォールキャビネットが変形するおそれがあります。

照明付ウォールキャビネット

●蛍光灯の交換

照明カバーは、手前の化粧ネジを外すととれます。
新しい蛍光灯（指定ワット数のもの）を取り付けて元通り照明カバーを付けてください。

⚠ 注意

禁　止

●照明器具に水をかけない。

照明器具に水がかからないようにしてください。
ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

キャビネットまわり（フロア・ウォール）

オプション部品

米びつ　付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

●お米は早めに補給してください。ときどき中を開けて天日通風するなど清潔な状態でお使いください。

システムラック

●シンクの上に設置したシステムラックにぬれた食品を置くときは、すべって落ちないように気をつけてください。
　また重いもの、壊れやすいものは乗せないでください。

⚠ 注意

必ず実行

●システムラックの最大積載重量を守る。

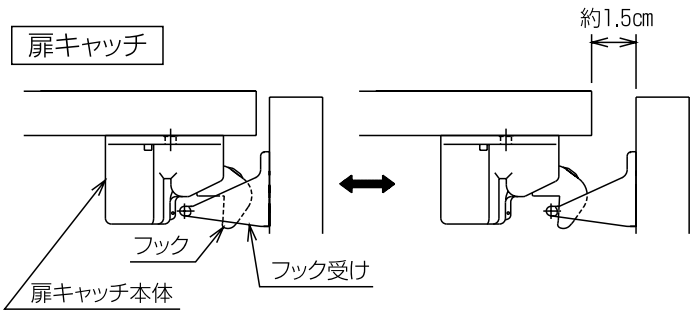
最大積載重量は7.5kgです。
これをこえると落下や変形のおそれがあります。

扉キャッチ

扉キャッチ付キャビネット

扉キャッチは、地震が発生してキャッチ本体が揺れを感知すると、フックが下がった状態で固定され、キャビネット内部の収納物の落下を防止します。

●通常の使用（扉の開閉）においては扉キャッチは作動せずロックはかかりません。
●ロックした場合は、扉を一旦閉め、揺れがおさまってから開いてください。揺れがおさまるとロックは解除されます。
●扉の開閉は、力を入れずやさしく行ってください。
●扉キャッチ機能は、建物の構造や階数によって、性能を充分に発揮しない場合があります。



⚠ 注意

禁　止

●取り外したり、分解しない。

取り外したりすると、正常に作動しなくなるおそれがあります。

禁　止

●不安定に積重ねたり、詰め込みすぎたりしない。

収納物が倒れた状態で扉をあけると、物が落下することがあります。

禁　止

●手前に小物を収納しない。

扉はロックが掛かっても約1.5cm程開きますので、落下するおそれがあります。

必ず実行

●ぬれたらすぐにふき取る。

扉キャッチ本体に汚れや水滴がついた場合は、乾いた布でふき取ってください。

注　意

●頭をぶつけない。

思いがけないケガをするおそれがあります。

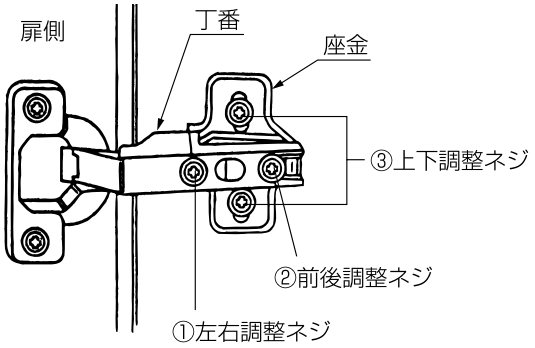
調整方法

扉の調整・取り外し方

●丁番の調整

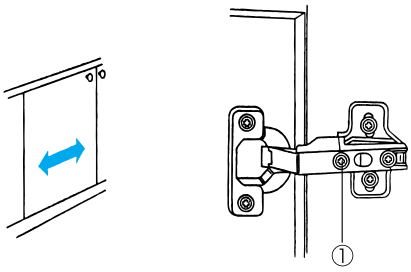
扉は左右や前後のズレがないように取り付けています。お客さまに調整していただく必要はありませんが、お使いになっていて扉がガタついたり微調整が必要な時は丁番①②③のネジで行ってください。

※②・③のネジをゆるめすぎると扉が外れることがありますのでご注意ください。



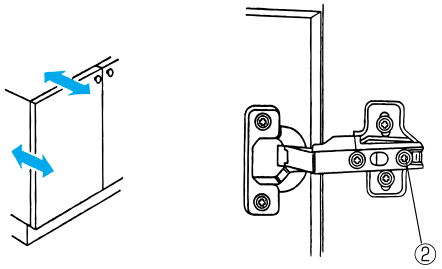
●左右調整したいとき

①の左右調整ネジを左にまわすと丁番側に移動し、右にまわすと丁番と反対側に移動します。



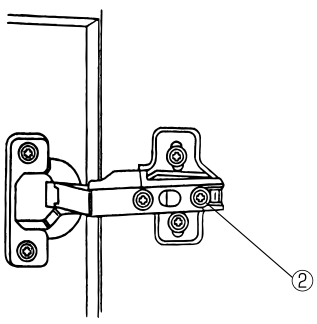
●前後調整したいとき

前後の傾きは②の前後調整ネジをゆるめて、丁番を前後に移動します。



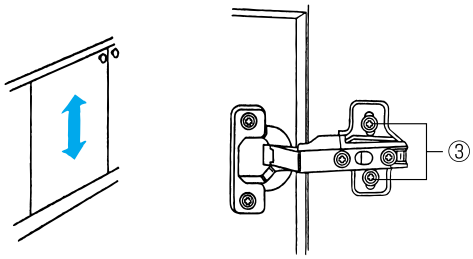
●扉の取り外し方

②の前後調整ネジをゆるめます。
取り外される際は扉をしっかり支えながら行い、扉やキャビネットをキズ付けないよう気をつけてください。



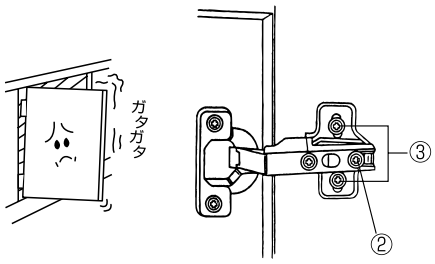
●上下調整したいとき

上下に扉が片寄っている場合は③の上下調整ネジをゆるめて座金の位置を調整します。（上下２本の丁番を調節してください。）



●扉にガタツキが発生した場合

②・③のネジを右側に回して固く締め付けます。



●調整後の確認

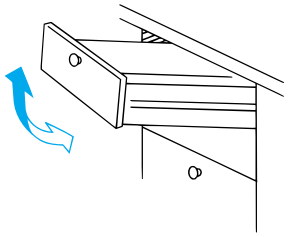
必ず実行

扉調整後は、全ての丁番の②と③のネジが締め付けられていることを確認してください。

調整方法

引出しの調整・取り外し方

プラスチック製引出し（白色）タイプの調整方法

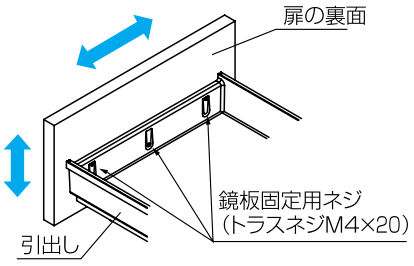


■引出しの取り外し、取り付け

完全に引き出した状態で持ち上げ、そのまま引き出して外します。
取り付けは取り外しの逆の操作をしてください。

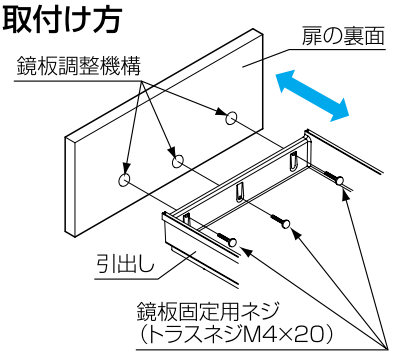
■鏡板の左右、上下の調整方法

①鏡板を支えながら、鏡板固定ネジをゆるめます。
②鏡板を動かします。（上下･左右に±0.2㎝調整できます。）
③鏡板固定ネジを締め付けます。

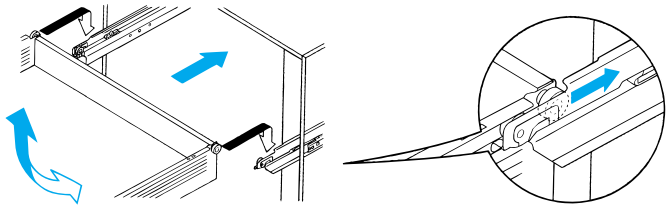


■鏡板の取外し方、取付け方

①鏡板固定ネジを外すと鏡板が外れます。
②引出し側の穴と鏡板に埋め込まれている鏡板調整機構を合わせて鏡板固定ネジで固定します。



スチール製引出し（白色）タイプの調整方法



1．引出しの取り外し、取り付け

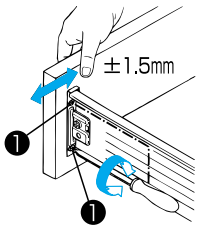
完全に引き出した状態で持ち上げ、そのまま引き出して外します。取り付けは引出しに付いているローラーとレールがかみ合うように引出しを入れてください。

2．鏡板の左右・上下調整および脱着方法

〔引出し鏡板の調整〕

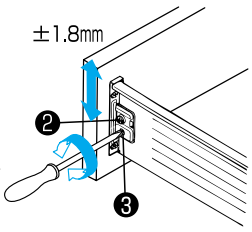
①左右調整

❶のネジ（左右）をゆるめると左右の鏡板が動かせます。



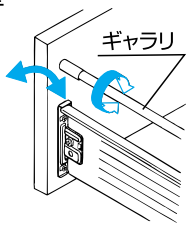
②上下の調整

❷のネジをゆるめ、❸のネジを回すと上下に鏡板が動きます。調整後❷のネジをしめます。



③鏡板のあおり調整

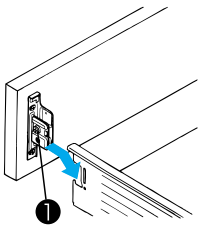
ギャラリを左右に回しあおりを調整してください。



〔鏡板の脱着方法〕

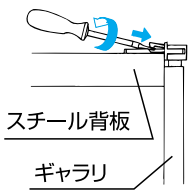
①鏡板の取り外し

❶のネジ（左右）をゆるめて鏡板を取り外してください。



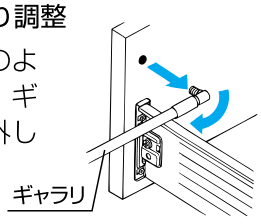
②ギャラリの取り外し

スチール背板に引掛けているギャラリの爪をマイナスドライバーで外してください。



③鏡板のあおり調整

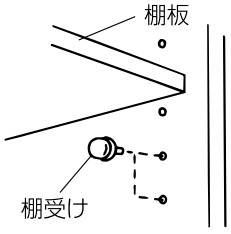
ギャラリを図のように折り曲げ、ギャラリを取り外してください。



棚板の調整

●棚板の動かし方

棚板は可動式となっております。
棚板を外し、棚受をお好みの位置に移動してください。棚受けは隙間のないよう奥まで差し込んでください。

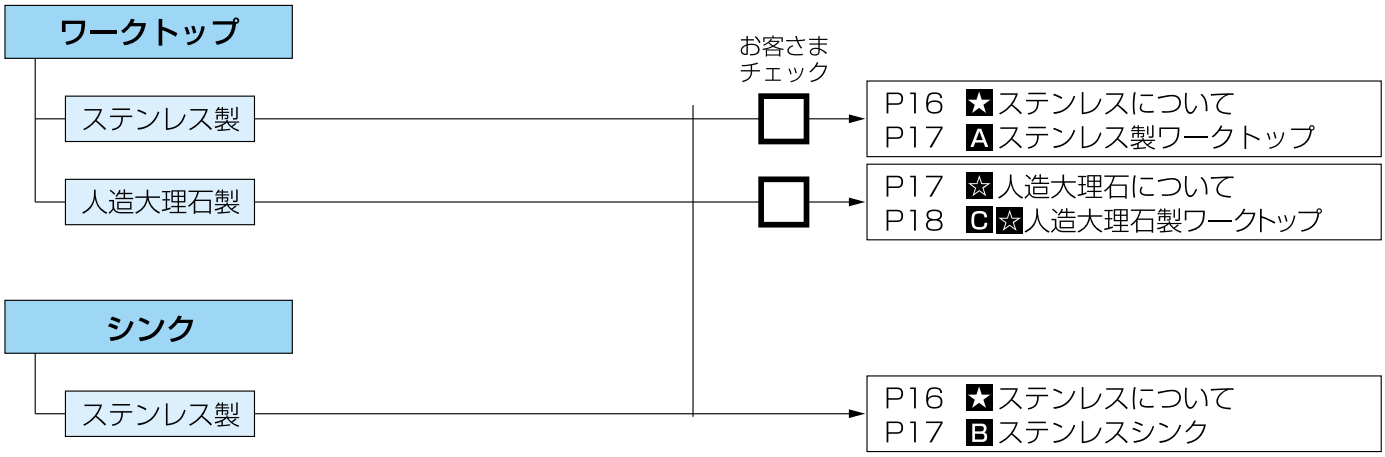


お手入れ方法

ワークトップまわり

お手入れの前に

ワークトップは素材や表面の仕上げ状態によってお手入れ方法が異なります。
まずはお客さまのキッチンがどれにあてはまるかチェックしましょう。



シンクにはゴミ収納器付排水トラップが付きます。→ P18

◇ステンレス（ステンレス製ワークトップ・ステンレス製シンク）

★ステンレスについて

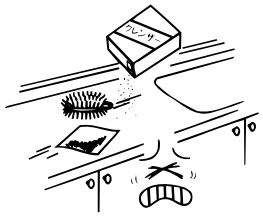
●ステンレスは、サビにくい金属ですが、塩素系洗浄剤やしょう油などの塩分の高いものが付着したまま放置するとサビる原因となります。
●空き缶などの金属類を置いたままにすると、これらがサビて、そのサビがステンレスをサビさせることがあります。これをもらいサビといいます。
●水滴に含まれるカルシウム分などによって、白い水アカが残ることがあります。

⚠ 注意

●金属タワシ等の使用禁止。

禁止

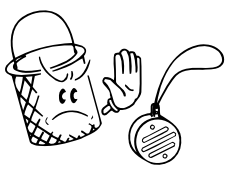
金属タワシ・ナイロンタワシ・粒子の粗い粉末クレンザーを使用しないでください。目には見えない細かいキズを付けます。



●ヌメリ取り剤の使用禁止

禁止

市販のゴミかご用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンク周辺のステンレスがサビる場合があります。使用しないでください。

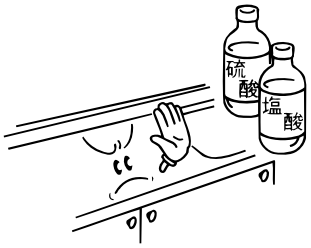


ヌメリ取り剤

●酸類の使用禁止。

禁止

硫酸・塩酸などの酸類は絶対に使用しないでください。
サビや変色のおそれがあります。

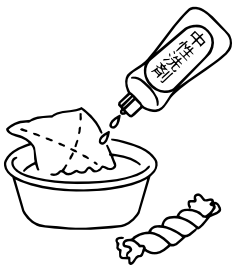


お手入れ方法

A ステンレス製ワークトップ

■毎日のお手入れ方法

1．布またはスポンジに、台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
ひどい汚れは、クリームクレンザーをつけて磨いてください。
2．トップに残った洗剤を、固く絞った布でふきとってください。
3．水分をふきあげてください。



■こんなときは

●塩素系洗浄剤やしょう油などが付着した
→放置せず、充分に水洗いしてください。
●もらいサビが発生した
→クリームクレンザーで磨いてください。
●水アカがついた
→クリームクレンザーで磨いてください。

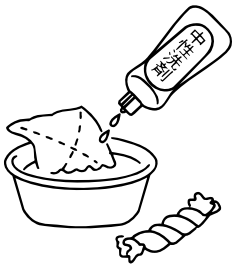
水アカはこびりついてしまうと、取り除くのが大変になるので、使用後は水分をふきあげてください。

※⚠注意事項についてはP16 ★を参照してください。
P6も併せてお読みください。

B ステンレス製シンク

■毎日のお手入れ方法

1．布またはスポンジに、台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
ひどい汚れは、クリームクレンザーをつけて磨いてください。
2．トップに残った洗剤を、固く絞った布でふきとってください。
3．水分をふきあげてください。



■こんなときは

●塩素系洗浄剤やしょう油などが付着した
→放置せず、充分に水洗いしてください。
●もらいサビが発生した
→クリームクレンザーで磨いてください。
●水アカがついた
→クリームクレンザーで磨いてください。

水アカはこびりついてしまうと、取り除くのが大変になるので、使用後は水分をふきあげてください。

※⚠注意事項についてはP16 ★を参照してください。
P8も併せてお読みください。

◇人造大理石

☆ 人造大理石について

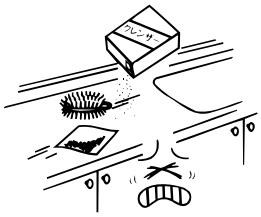
●熱い油などの入ったナベで長時間放置すると変色することがあります。熱いものを置くときは、ナベ敷きなどをお使いください。
●硬く鋭利な金属や陶器などで表面にキズが入ることがあります。

⚠ 注意

禁 止

●金属タワシ等の使用禁止。

金属タワシ・ナイロンタワシ・粒子の粗い粉末クレンザーを使用しないでください。目には見えない細かいキズを付けます。



禁 止

●ヌメリ取り剤の使用禁止

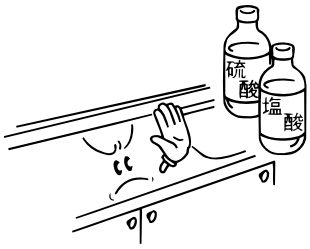
市販のゴミかご用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンク周辺のステンレスがサビる場合があります。使用しないでください。

ヌメリ取り剤

禁　止

●漂白剤・酸類・溶剤の使用禁止。

漂白剤や塩酸などの酸類、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。
変色・変質のおそれがあります。



禁　止

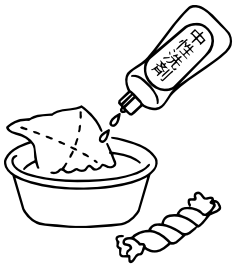
●熱いものを直に置かない。

熱により変色するおそれがあります。

C 人造大理石カウンタートップ

■毎日のお手入れ方法

1．水や湯に含んだ布またはスポンジでこまめにふいてください。
　週に１度くらい、台所用中性洗剤を含ませた布でふきとると油性の汚れなどが落ちます。
　ひどい汚れや落ちにくい汚れは、スポンジにクリームクレンザーをつけてていねいに磨いてください。
2．トップに残った洗剤は、固く絞った布でふきとってください。
3．乾いた布で水分をふきあげてください。



※⚠注意事項についてはP17 ☆ を参照してください。P6も併せてお読みください。

ゴミ収納器付排水トラップ

■毎日のお手入れ

1．排水カップ・ゴミかごをお湯または台所用中性洗剤で洗います。
2．洗い終わったら水で流してください。
3．各部品を元に戻します。

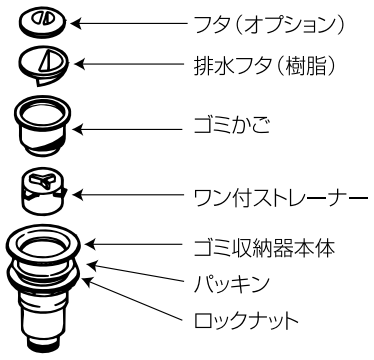
■月に１回お手入れ

1．排水カップ・ゴミかご・ワンを取り出し、お湯または台所用中性洗剤で洗います。
2．ゴミ収納器本体をお湯または台所用中性洗剤で洗います。
3．洗い終わったら水で洗い流してください。
4．各部品を元に戻します。
5．最後に少量の水を流してワンに水を溜めます。

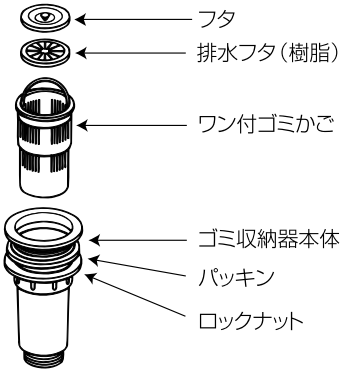
■排水の流れが悪くなったら

1．ワンを取り出してゴミ収納器本体に溜まったものを取り除きます。
2．ワン・ゴミ収納器本体を洗います。
3．各部品を元に戻します。
4．最後に少量の水を流してゴミ収納器本体に水を溜めます。

●ラウンド68（56）シンク用



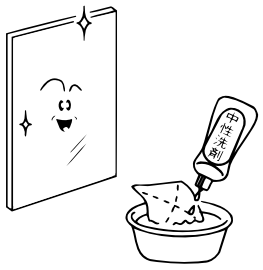
●40シンク用



お手入れ方法

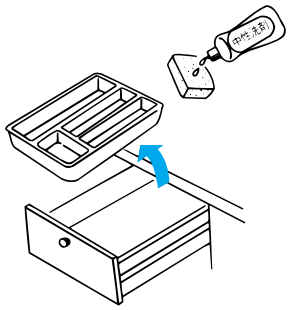
扉のお手入れ方法

●通常のお手入れは柔らかい布でからぶきしてください。
布またはスポンジに薄めた台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でからぶきしてください。



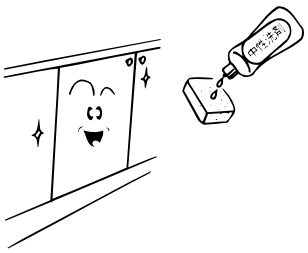
引出しのお手入れ方法

●引出しは汚れが溜まりやすい所です。ときどき取り外して布やスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れをふきとります。洗剤は水を含んだ布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。
●スチール製引出しの場合、下端にパッキンが付いています。パッキンが汚れた場合は、水を含んだ布で、汚れをふきとってください。



キャビネットのお手入れ方法

●キャビネットの汚れは布かスポンジに台所用中性洗剤をつけてふきとります。洗剤は水を含んだ布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシで取り除いてください。
油・調味料・食品の汚れを放置しているとサビやカビの原因になりますので、早めにお手入れしてください。



取っ手のお手入れ方法

●布やスポンジに中性洗剤をつけて汚れをふきとります。
洗剤は水を含んだ布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。

⚠ 注意

●中性洗剤以外は使わない。

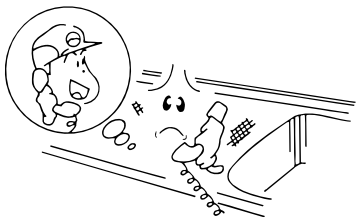
家具用ワックスやシンナー、アルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。
変色や光沢をなくしたりして、表面をいためます。

故障・修理について

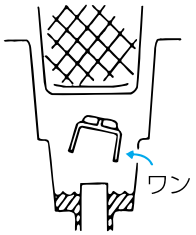
製品には万全を尽くしておりますが、長い間使用していますと多少の不具合が出ることがあります。
その場合は以下のように行ってください。

ワークトップ、シンク、扉、水栓金具

■ステンレス・また扉についた細かいキズや変色には修理できるものもあります。
お早めにお買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

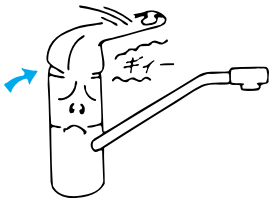


●シンクの排水が詰まったり、流れにくくなったときは、ワン（ワン付ゴミかご）を外して掃除してください。
詳しくは18ページのゴミ収納器付排水トラップの項目をお読みください。



ワン（ワン付ゴミかご）は左に回すと外れます。

●水栓レバーは、長い期間使用すると、レバー操作時の抵抗が大きくなります。これは故障では水垢などなどによるグリースの消耗が原因です。
お買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。



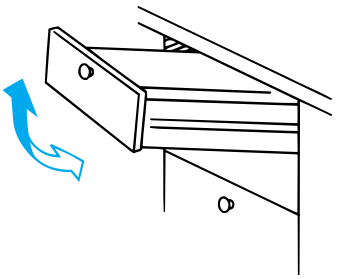
キャビネット、引出し

■扉がガタつく

扉の吊り元の丁番がゆるんでいませんか？
ゆるんでいたらネジを締め直してください。扉が前後左右にずれているときはネジ調整が必要です。扉の調整の説明（14ページ）をよく読んでください。

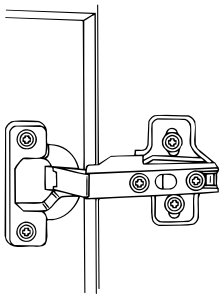
■引出しの動きが悪い

引出しがはずれていませんか？
いったんキャビネットから引出しをはずして、もう一度入れ直してください。引出しの外し方の説明（15ページ）をよく読んでください。



■扉が外れた

扉の吊り元の丁番が外れていませんか？
扉の取り外しの説明（14ページ）をよく読んでください。



本製品のホルムアルデヒド発散区分

	表示内容	
1	商品名	コンポーネントキッチン〈サンファーニ・ティオ・プラス〉
2	企業名	株式会社 LIXIL
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも　F☆☆☆☆
4	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」に基づくキッチン・バス工業会表示指針による
5	製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください
6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB　F☆☆☆☆　　合板　F☆☆☆☆ MDF　F☆☆☆☆　　接着剤　F☆☆☆☆
7	本表示に対するお問合せ先	お客さま相談センター 0120−1905−21

アフターサービスについて

ご不審な点や故障のおきた際には、お買い求めいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

1 点検・修理を依頼されるとき

●商品に不具合がありましたら、再度、本説明書の故障・修理のページをお読みいただき、一度調整してみてください。
●調整しても直らない場合や、記載している以外の不具合がある場合は、ご自分で修理しないで、お買い求めいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

> ⚠ **警告** 修理技術者以外の人は絶対に取付を行わないでください。
> 思わぬ事故が発生しケガをするおそれがあります。

■お申し込みの際には、次のことをご確認ください。

●保証書をご覧になって保証期間中か、保証期間を経過しているかを確認してください。

保証期間中の修理	保証期間経過後の修理
修理に関して必ず保証書をご提示ください。 保証期間中は保証の規定に従って修理させていただきます。	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。 料金の内訳は、技術料＋出張料・部品代です。

連絡していただきたい内容

1．おなまえ・おところ・電話番号

2．商品名・品番
品番と製造番号及び邸Noもあわせてお知らせください。
（キャビネット内側に貼付している「検査証」に記載されています。）
キッチン本体以外の組み込み機器などについては、専用取扱説明書と製品本体に品名表示があります。

3．故障内容
不具合の状況をできるだけ詳しくお知らせください。

4．ご訪問希望日

当社は、当社がお客様から直接ご提供いただいたお客様の個人情報は、流通業者様等から間接的に取得いたしましたお客様の個人情報および流通業者様等の個人情報を、アフターメンテナンス等、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

2 サービス部品（補修用性能部品）について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。この保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。
＊補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
＊一部の部品（例えば、キャビネットの扉、ワークトップ）につきましては、同一部品で修理できない場合がありますので、ご了承願います。
＊キッチン以外の組み込み機器の補修用性能部品最低保有期間については、それぞれの専用取扱説明書をご覧ください。

3 廃棄処分について

廃棄処分の際は必ず許可を受けた専門業者に依頼してください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理をおこなうことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店または取扱説明書記載の修理受付センターに修理をご依頼ください。

＊品番・取付日・お客さま・販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品　　名	サンファーニ〈ティオ・プラス〉		
保証期間	取付日より　2ケ年（注1）（注2）		取付日
お客さま	おなまえ		販売店名
	おところ		
	おでんわ	（　　）　－	（　　）　－

無効

お客さまへ

（注１）取付日とは、
- 改修工事の場合は、改修部分の工事の完了日とします。
- 分譲住宅（建売住宅）、分譲および賃貸マンションの場合は、建築物が建築主さまへ引渡しされた日とします。
- 建築主様が直に取付される場合は、購入日とします。

（注２）レンジフードや加熱機器などの機能機器に関する保証期間、保証条件などは、各々の保証書に関する書面に従います。

- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無償修理をお受けになる場合、お買い求めの販売店または取扱説明書に記載の修理受付センターにご依頼ください。
3．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
（1）住宅用途以外（車輌、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
（2）指定業者や取付設置説明書等に基づかない取付に起因する不具合
（3）お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
（4）専門業者以外による移動・修理・分解、加工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（5）建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
（6）経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
（7）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気循環及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
（8）小動物（犬、猫、ねずみ、小鳥、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
（9）天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
（10）戦争、暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
（11）自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
（12）消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
（13）水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（＊水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
（14）保証書の期限切れまたは提示がない場合
（15）本書のお取付日、お客さまのお名前、販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4．本書は日本国内においてのみ有効です。
5．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買求めの販売店または取扱説明書に記載の修理受付センターにお問い合わせください。
6．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後、6ヶ年です。

《個人情報の取扱い》

当社は、当社がお客様から直接ご提供いただいたお客様の個人情報、流通業者様等から間接的に取得いたしましたお客様の個人情報および流通業者様等の個人情報を、アフターメンテナンス等、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご参照ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで

http://www.lixil.co.jp/

修理のご依頼は、ＬＩＸＩＬ修理受付センターまで
受付時間／9:00～19:00（年末年始の休みは除く）

TEL.0120-0000-72　FAX.0570-02-7027

商品についての技術的なお問い合せは、ＬＩＸＩＬお客様相談センターまで
受付時間／9:00～18:00　土･日祝 9:00～17:00（年末年始の休みは除く）

TEL.0120-1905-21　FAX.0570-02-0828

6043199 HYトリアツカイセツメイキッチン 12.11 KAP